

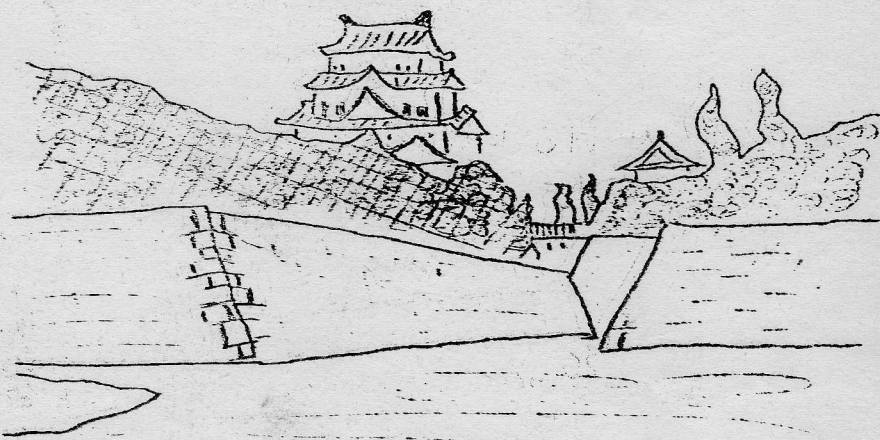
名古屋大学郷土研究会

41年度後期研究テーマ

『名古屋城と

名古屋人』

——現代名古屋人における名古屋城の影響について——



⑨ 散回の部会により決定した研究事項をまとめました。

研究事項

1. 名古屋城

- 名古屋城完成までの変遷(織田信秀～徳川末期)
- 名古屋城と地形・付近の城との関係
- 名古屋城自体の構造と軍事的意義
- 主として支配者について研究する。 —

2. 城下町と町人

- 城下町の町割と町名
- 支配者の町民支配構造
- 町人の日々の生活
- 主として町民について研究する。 —

3. 名古屋人

- 名古屋人気質に対する分析。
- 城主の幕府に対する反撥と名古屋文化
- ◇ 現代名古屋人に対するアプローチ //

活動計画

11月13日(日) 名古屋城見学

15日(火) 予定表・関係図書目録配布

名古屋城資料分担決定

西川 22日(火) 名古屋城着工までの資料まとめ提出

着工までの問題点提起と全体討論

名古屋城見学コース決定・研究開始

27日(日) 名古屋城見学 概説書配布

コンベ

加藤 29日(火) 名古屋城の構造と軍事的意義研究開始

上についての図書まとめ

山岸 12月6日(火) 名古屋城の構造と軍事的意義研究まとめ提出

上についての問題提起と全体討論

名古屋城見学観点の話し合い

11日(日) 名古屋城見学(名古屋城まとめとして)

X 13日(火) 城下町の町割と町名についての研究開始

今までの活動の反省と今後の展望

堀江 20日(火) 城下町の町割と町名についてまとめ

上についての問題提起と全体討論

25日の城下町見学コース・コンパについての打合せ

25日(日) 城下町見学

コンパ //

1月中 支配者の町民支配構造・町民の生活研究

3月中 名古屋人について研究⇒結論!! 春合宿!!

片山
鈴木

「名古屋城と名古屋人」

資料 NO. 1

名大郷研発行

文献目録表(市立鶴舞図書館調べ)

(共) 一部員所有

1 概説書

イ. 名古屋城物語 (名古屋市)

130p. 目次・名古屋城築城以前の尾張

- ・清州越
- ・築城
- ・規模と建築
- ・御殿と障壁画
- ・二之丸庭園
- ・金鯱
- ・名古屋城余聞
- ・その後の名古屋城

(130pの本で大変良くまとまっており、入門書としては丁度良い本)

ロ. 特別史蹟名古屋城 (山田秋衛) (共)

150p. イの本の改訂増補版

(この本は本屋でも手に入れやすいと思われる。ぜひ一読を!!)

ハ. 名古屋城史 (名古屋市)

535p.

(この本はいろいろの本の基となる様なしっかりとした本であり、内容も特に詳しい。山岸君が古本屋で見つけて定価を見たら何と3,400円也と書いてあったという本)

ニ. 名古屋城物語 (朝日新聞社) (共)

268p. 目次・築城以前

- ・築城
- ・幕政時代
- ・明治以後

(朝日新聞に連載された物を本にしたもの。エピソードを中心に楽しく名古屋城の事が書いてある。リラックスムードでどうぞ!!)

ホ. 名古屋城紀聞 (名古屋市文化財調査保存委員会)

68p. 目次・名古屋城敷地内・築城以前の遺物について—吉田寛夫—

- ・名古屋建築の歴史的意義—伊奈森太郎—
- ・名古屋城の建築—城戸久—
- ・石史—尾崎久弥—
- ・名城石壘の紋刻について—山田幸太郎—
- ・名城草木落葉かご—岡田善敏—
- ・御土居下同心・宝暦大修理—山田秋衛—
- ・築城余聞(慶長日記より・二の丸について・土田仲敏屋敷怪談)

—山田幸太郎—

- ・「名古屋城金の鯱」など—紅村清孝—

※↑

※・金鱗御粉失を突明する 一尾崎久弥

・~~筑城の品~~ 十村錦一

・竹長押茶屋・汗かき地蔵 一山田秋衛一

・版に現われた名古屋城 一尾崎久弥一

（~~この名をいふ~~ ~~は~~ ~~い~~ ~~は~~ ~~あ~~ ~~る~~ ~~事~~ ~~も~~ ~~あ~~ ~~り~~ ~~又~~ ~~我~~ ~~々~~ ~~ラ~~ ~~ブ~~ ~~で~~ ~~本~~ ~~を~~ ~~出~~ ~~す~~ ~~時~~ ~~に~~ ~~大~~ ~~変~~ ~~参~~ ~~考~~ ~~に~~ ~~な~~ ~~る~~ ~~と~~ ~~思~~ ~~わ~~ ~~れ~~ ~~る~~ ~~本~~）

ハ. 名古屋城（四宮信治）

32p.

（単人による本であるので大変城の軍事面が良く書いてある。
目次にも"壕に水の無いゆけ" "天守閣から何所まで見える" "昔の城は何故
高き深き壕なのか" 等々興味ある物が多く、出城についても詳しい。）

2. 特殊図書

・御土居下について

ト. 名古屋城秘境 御土居下の人々（岡本柳英）

150p.

（御土居の事と文化に詳しい。）

チ. 名古屋城ニ之れ御土居下考説（岡本柳英）

154p.

・石壘について

リ. 名古屋城石垣上の彫込み（片桐寿）

20p.

（丁場により紋を区別して表にしてあり又紋それぞれ自体の説明がある。又各大名の家臣名が上げてあるのは参考になるのでは？）

又. 名古屋城と岩崎石

ル. 名古屋城と河戸石

オ. 名古屋城と篠島石

（著者の個人的出版本。10p~15p程度だがよく現地に出かけて
いって調べてあり参考になると思われる。）

・その他

ワ. 名古屋城並尾張藩国防の研究（大村有隣）

40-5p.

（単人による図書。戦術的議論が多いのは戦争に弱に我々に大
きな教訓を与える。）

カ. 名古屋城下町基盤割の形成尺度考説

47p. 46p.

（名古屋の城下町の尺度を大々によって定めたのをキビシイ
言っている。）

3. 写真・図版図書

ヨ. 名古屋城上中下（名古屋市）

上. 10p 説明 22p 城の写真

中. 53p 御殿の写真

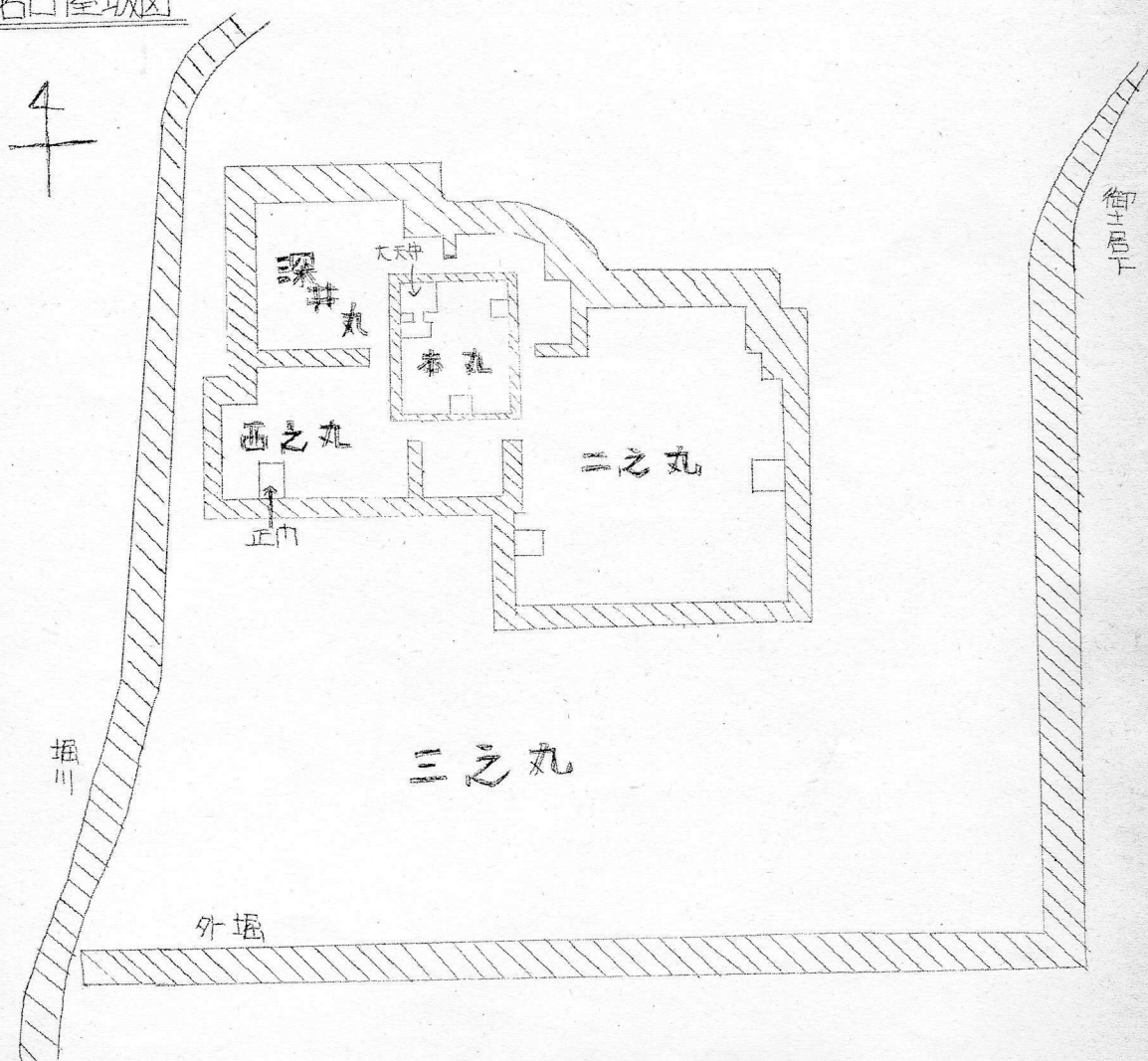
下. 50p 城成図面
 夕. 国宝史蹟名古屋城 (名古屋市)
 上. 40p 説明 4p 図面 80p 写真
 下. 96p 写真 5p 古図
 (ヨッ名古屋城の改訂と思われるが写真はいちらが一段と多く
 戸図が数枚入っている所が異なっている。)
 レ. 名古屋城大鑑 (城戸久)
 10p 説明 65p 写真

4. その他

名古屋に関係の図書にも多く述べられている。

◎ 他の図書館や本屋でも良い本を見つけ部会に発表しよう!!

名古屋城図



○名古屋城年表(朝日新聞刊 名古屋城物語より抜粋)

- 1394~1427(応永元~34) 尾張の守護大名新田義重の居城(清州)で、
 1521~1527(大永元~7) 駿河の守護今川氏親名古屋に「柳之丸」築城。
 1531(天文元) 織田信秀、豊歌の謀略で「柳之丸」を奪取。「那古野城」と改称。
 1555(弘治元) 信長清州城へ移る。叔父を那古野城主とするが殺され家臣と城主。
 1560(永祿3) 桶狭間の役
 1561~1562(永祿4~5) 信長家康と同盟。那古野城次第に廃城となる。
 1582(天正10) 信長本能寺で明智光秀に攻められ自害。
 1598(慶長3) 秀吉伏見で死ぬ。
 1600(慶長5) 関ヶ原の戦。家康四男松平忠吉を清州に封ずる。
 1607(慶長12) 忠吉江戸で死ぬ。家康九男義直を清州に封ずる。
 1609(慶長14) 家康名古屋台地に名古屋城築城を決定
 1610(慶長15) 普請着工。年内ほぼ完工。清州越始まる。
 1612(慶長17) 大小天守、諸門、諸櫓 ほぼ完工。金鯱上がる。本丸御殿着工。
 1616(元和2) 家康死ぬ。義直名古屋城に入る。
 1650(慶安3) 義直死ぬ。光友襲封。大旱の水害。
 1693(元禄6) 3代藩主綱誠襲封。
 1699(元禄12) 綱誠死ぬ。四代藩主吉通襲封。
 1713(正徳3) 吉通死ぬ。五代藩主五郎太が襲封二月後死に継友襲封。
 1726(享保11) 金鯱才1回改鋳。
 1730(享保15) 継友急死。七代藩主宗春襲封。
 1739(元文4) 幕府宗春に隠居謹慎を命じ八代藩主宗勝襲封。
 1755(宝暦5) 天守閣大修理完了。
 1761(宝暦11) 宗勝死ぬ。九代藩主宗隆襲封。
 1800(寛政12) 十代藩主斉朝襲封。
 1827(文政10) 斉朝隠居。十一代藩主斉温襲封。金鯱才2回改鋳。
 1839(天保10) 斉温死ぬ。十二代藩主斉荘襲封。
 1845(弘化2) 斉荘死ぬ。十三代藩主慶藏襲封。
 1846(弘化3) 金鯱才3回改鋳。
 1849(嘉永2) 慶藏死ぬ。高須・四谷家から十四代藩主慶勝襲封。
 1854(安政元) 日米和親条約調印。
 1858(安政5) 日米通商条約調印。慶勝隠居謹慎を命ぜられ十五代藩主茂徳襲封。
 1863(文久3) 十六代藩主義直襲封。
 1867(慶応3) 慶勝再び襲封。大政奉還。
 1869(明治2) 版籍奉還。慶勝藩知事となる。
 1871(明治4) 金鯱宮内省に献納。天守よりおろされる。
 1873(明治6) 金鯱ウィーンの万国博に出品。
 1879(明治12) 金鯱名古屋城へかえる。
 1886(明治19) 広小路貫通。
 1888(明治21) 名古屋鎮台才3師団となる。
 1945(昭和20) 空襲により名古屋城焼失。(5月)
 1959(昭和34) 再建なる。(10月)